

1.1.11 据付関連事項

ASJ140(H)～1400H

(1) 室内ユニット

(a) サービススペース

- ASJ140H, 140HT, 200H, 200HT, 280H, 280HT, 400HA, 560H }...前面 1 m 以上
ASJ140, 140T, 200, 200T, 280, 280T, 400A, 560
- ASJ630H, 800H.....(1)前面1.0m以上, 左右いずれかの側面0.9m以上, 背面0.35m以上取ってください。
(2)送風機軸交換のためには左右いずれかの側面最小1.65mのスペースが必要です。
- ASJ1120H..... 前面1.0m以上, 左右いずれかの側面0.75m以上, 背面0.45m以上取ってください。
- ASJ1400H..... (1)前面1.0m以上, 左右いずれかの側面0.75m以上, 背面0.5m以上取ってください。
(2)送風機軸交換のためには左1.4m以上, 右1.1m以上いずれかの側面にスペースが必要です。

(b) 電気ヒータ取付機の安全スペース (電気を熱源とする温風暖房機の設置に関する運用基準より)

- 上面10cm以上, 背面・側面 5 cm以上, 前面60cm以上, 吹出口前面 1 m以上。

(c) 加熱器組込み方向.....J140～J560は正面より組込可能 J630, J800は左側面, 右側面および上面から組込可能 (据付前に組込んでおいてください。)

(2) 室外ユニット

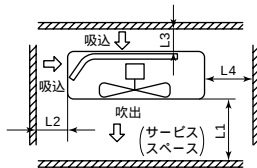
(a) 据付場所の選定

- 1) 据付部の床が強固な所。
- 2) 他の熱源から熱輻射を受けない所。
- 3) 吸込口・吹出口に風の障害のない所。
- 4) 吹出口に強風の当たらない所。
- 5) 騒音や熱風が近隣の迷惑とならない所。
- 6) ドレンが流れてもよい所。
- 7) 積雪で埋らない所。

(b) 据付スペース

(i) AUCJ140H, 140

下記の吸込・吹出・サービススペースを取ってください。



AUCJ140H, 140

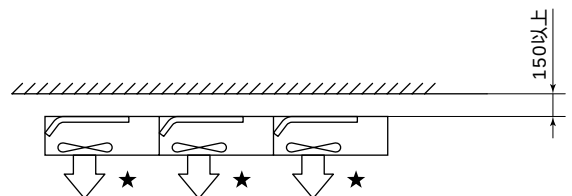
寸法	据付例	例1	例2	例3
L ₁		開放	開放	500
L ₂		300	0	開放
L ₃		150	300	150
L ₄		0	0	0

1) 複数台設置

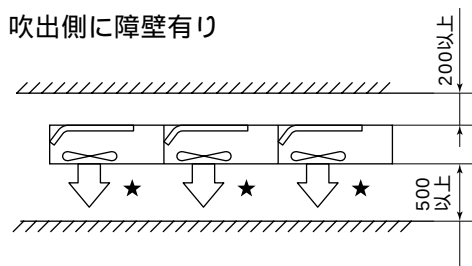
印はサービスパネル側を示します。

a) 左右連続設置

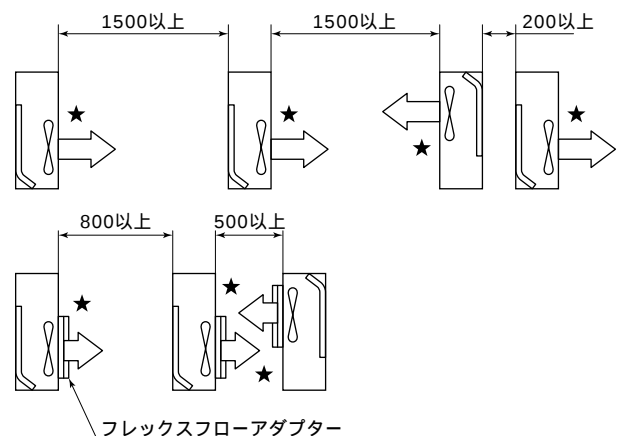
吹出側開放



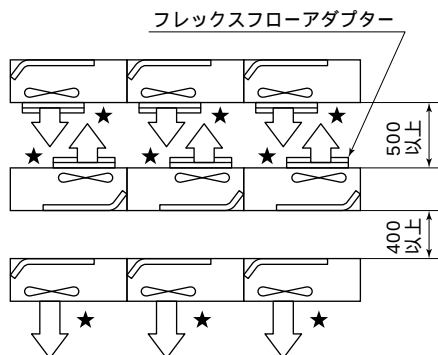
吹出側に障壁有り



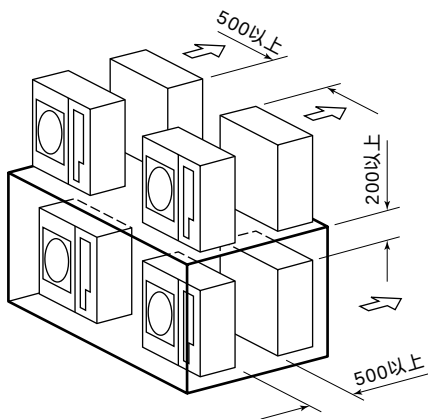
b) 対向設置



c) 左右連続・対向設置

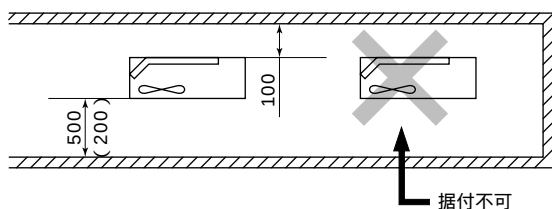


d) 架台を使用の場合



2) 細い路地に据付ける場合

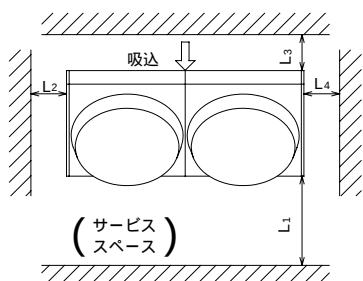
複数台の据付⇒据付不可（四面障壁となる）



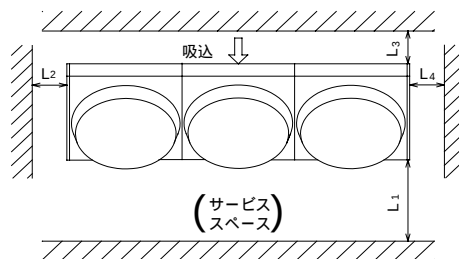
- 注(1) ()で囲む値はガイドルーバ使用の場合です。
 (2) 奥のユニットは四面障壁とみなせるので据付不可です。
 (3) 前記の四面障壁での据付可能条件を満たせば据付できます。

(ii) AUCJ200H, 280H, 400HA, 200, 280, 400A
 下記の各スペースを取ってください。

AUCJ200H, 280H, 200, 280

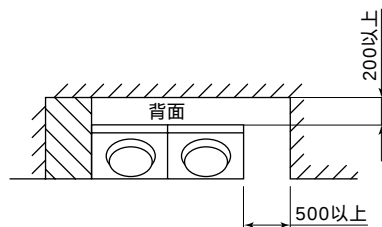


AUCJ400HA, 400A



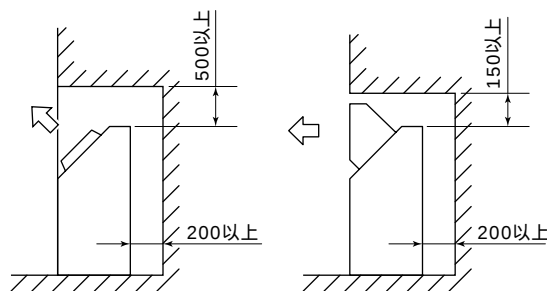
据付例 寸法			
L ₁	開放	開放	500
L ₂	0	500	500
L ₃	200	200	200
L ₄	500	0	500

1) 側面・背面に障害壁がある場合



- 注(1) 左側面（印）を障害壁に密着しての設置もできます。
 その場合は右側面に500mm以上のスペースを設けてください。

▶ 上部に障害物がある場合

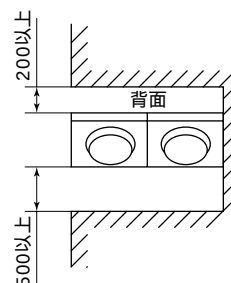


〔標準斜上吹き〕

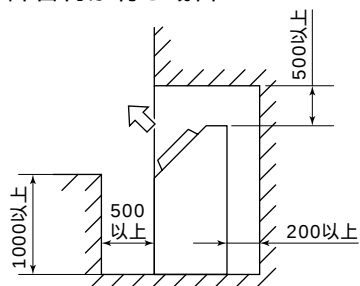
〔横吹き〕

- 注(1) 横吹きは別売品の風向可変アダプタを取り付けた場合を示します。

2) 側面（前後面）に障害物がある場合

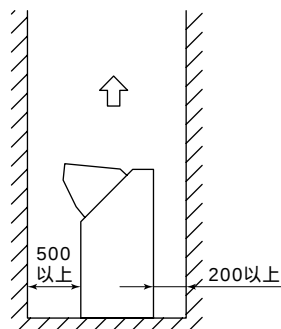


▶上部に障害物が有る場合



〔標準斜上吹き〕

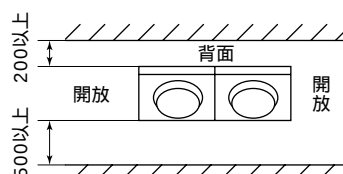
▶ 上部開放の場合



〔上吹き〕

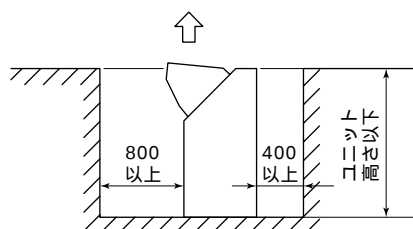
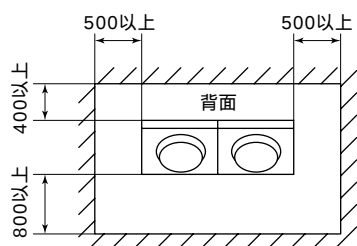
注(1)〔横吹き〕〔上吹き〕は
いずれも別売品の風向
可変アダプタを取り付
けての場合を示します。

3) 路地等（前後に障害物）への設置



注(1) ユニット上部のスペースは、前記の「側面(前・後面)に障害物がある場合」と同じとしてください。

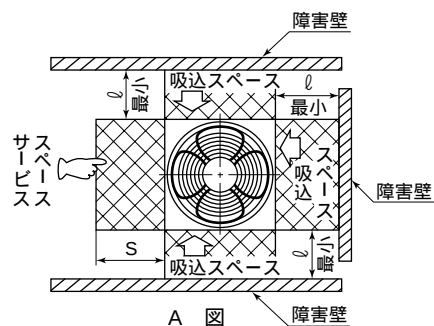
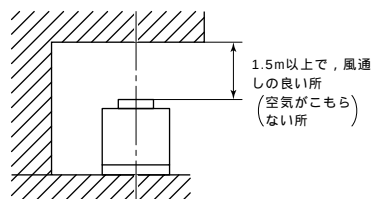
4) 四面障壁の場合



〔上吹き〕

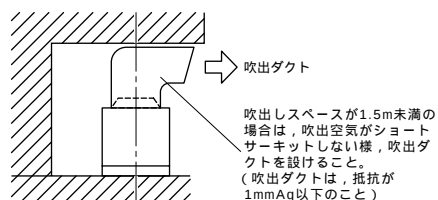
注(1)〔上吹き〕は別売品の風向可変アダプタを取り付けての場合を示

(iii) AUCJ355H , 450H

A 

(B ㊸)

項目 形式	参考図	参考図各部寸法	
		ℓ	S
AUCJ355H	A図	400	900
AUCJ450H	B図		



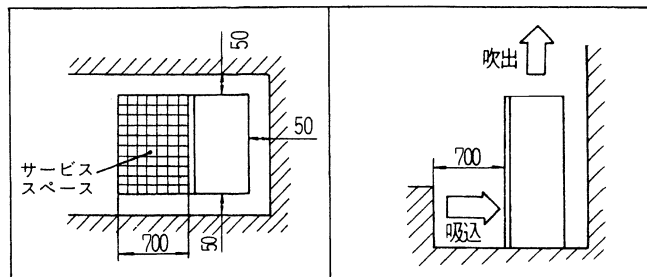
(B 図)

FDSJ140HD2, 200HD2, 280HD2

(1) 室内ユニット

(i) 据付場所の選定

- 1) 空調する部屋の形状，高さに応じ，冷風または温風が部屋に十分行きわたるよう据付場所，据付方向を選んでください。
- 2) 吸込口および吹出口の近くに風の障害となるようなものがない所
- 3) エアフィルタのサービス，パネルの着脱作業に支障のない所



- 4) 調理場，機械工場等に設置の場合は煙・油・蒸気等が直接ユニットに吸込まれない場所を選んでください。
- 5) 室外への配管，配線のしやすい所
- 6) 据付部が強固である所
- 7) 直射日光のあたらない所
- 8) 可燃性ガスが発生しない所
- 9) ドレン排水が完全にできる所
- 10) ユニット上部，側面にサービススペースが確保できる所
- 11) ユニートを水平にしてください。
- 12) 転倒防止のため本機を固定してください。

(2) 室外ユニットの据付

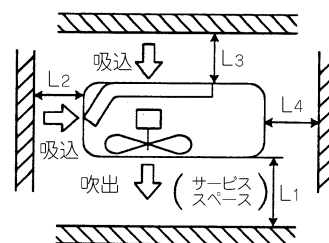
(a) 据付場所の選定

- 1) 室外ユニットの重量に耐えられる所。
- 2) 可燃性ガスの漏れる恐れのない所。
- 3) 空気がこもらない所。
- 4) 他の熱源から熱輻射を受けない所。
- 5) ドレンが流れてもよい所。
- 6) 騒音や熱風が隣家に迷惑をかけない所。
- 7) 吸込口，吹出口に風の障害物のない所。
- 8) 腐食性ガスの発生する所（温泉地等）。
- 9) 潮風が当たる所（海浜地区）。
- 10) 油煙が立ちこめる所。
- 11) 電磁波を発生する機械のある所。

(b) 据付スペース

(i) FDU CJ140HD2

下記の吸込・吹出・サービススペースを取ってください。



据付例 寸法			
L1	開放	開放	500
L2	300	5	開放
L3	150	300	150
L4	5	5	5

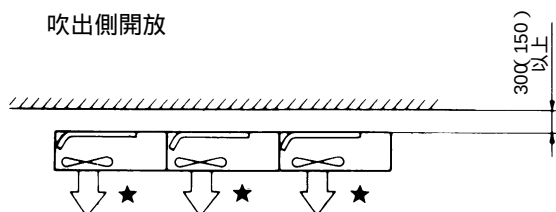
- 1) 吹出口前面の障壁はユニット高さ以下としてください。
- 2) 四面障壁は不可です。上方のスペースは1m以上確保してください。
- 3) 横連続設置するときは，ユニット間に10mmのスペースを確保してください。
- 4) ショートサーキットの恐れのある場所はガイドルーバを取付けてください。
- 5) 複数台設置する場合には特にショートサーキットが生じないように吸込スペースを十分確保してください。
- 6) 積雪によって，室外ユニットがふさがれてしまうような所は防雪工事を行ってください。
- 7) 強風の影響を受けやすい所は，防風対策を行ってください。

a) 複数台設置

▶ 左右連続設置

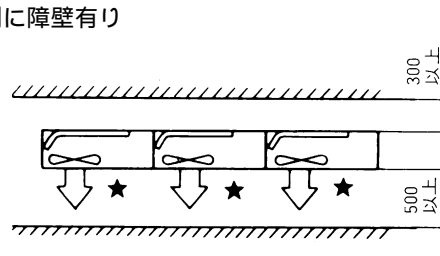
〔ユニット間に10mm以上の隙間を設けてください〕

吹出側開放

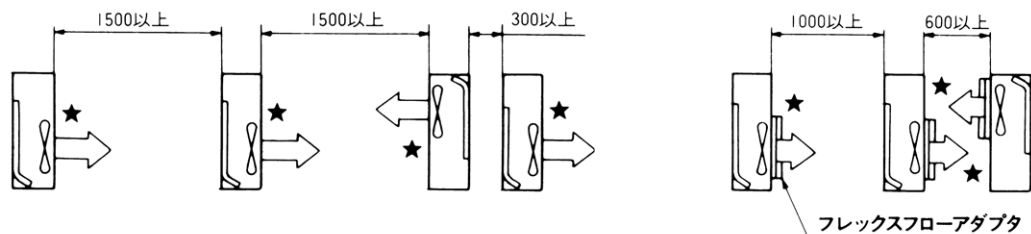


印はサービスパネル側を示します。

吹出側に障壁有り



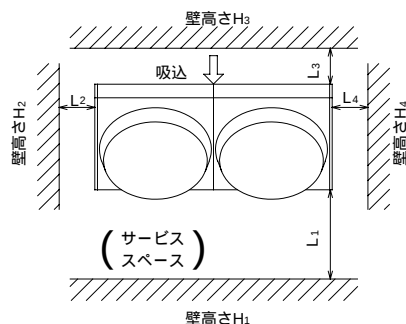
▶対向設置



(ii) FDUCJ200HD2, 280HD2

1) 単独設置

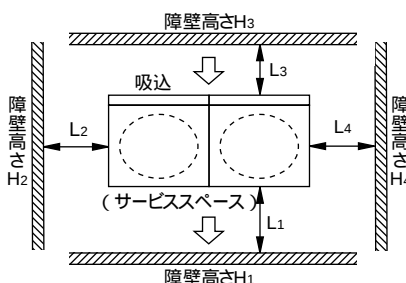
・標準斜め吹きまたは上吹き



(単位:mm)

寸法	据付例	I	II	III
L ₁		開放	開放	500
L ₂		0	0	0
L ₃		300	300	300
L ₄		開放	500	0
H ₁		—	—	1000以下
H ₂		制限なし	制限なし	制限なし
H ₃		制限なし	制限なし	700以下
H ₄		—	制限なし	制限なし

・横吹き



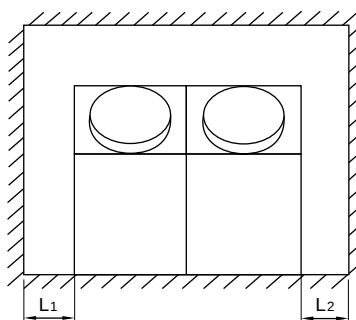
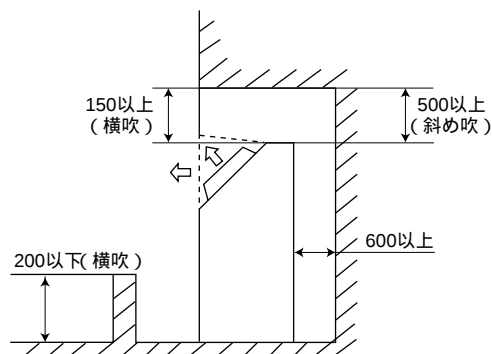
据付例 の壁高さH₁, H₃が制限値を越える場合は,
L₁, L₃は下記としてください。

$$L_1 = H_1 - 500$$

$$L_3 = 300 + (H_3 - 700) / 2$$

ただし, L₃ = 600を越えれば壁高さH₃の制限はありません。

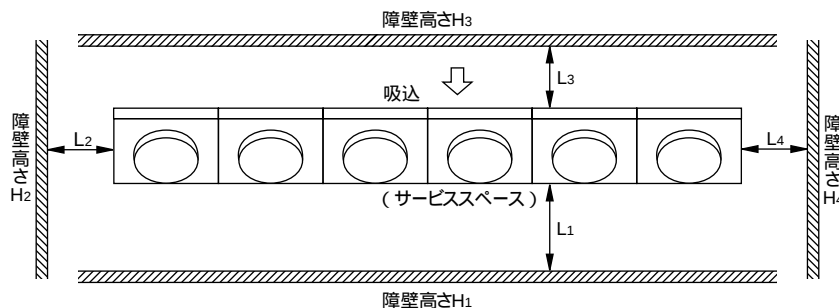
2) 上部に障壁がある場合



$$L_1 \text{ または } L_2 \quad 350$$

$$L_1 + L_2 \quad 750$$

3) 複数台設置 (横1列設置: 台数制限なし)



L ₁	500	H ₁	1000
L ₂	0	H ₂	制限なし
L ₃	300	H ₃	700
L ₄	0	H ₄	制限なし

注(1) 障壁高さH₁, H₃が制限値を超える場合はL₁, L₃は下記としてください。

$$L_1 = H_1 - 500 \text{ (横吹きの場合, } L_1 \text{ に関係なく } H_1 = 1000 \text{)}$$

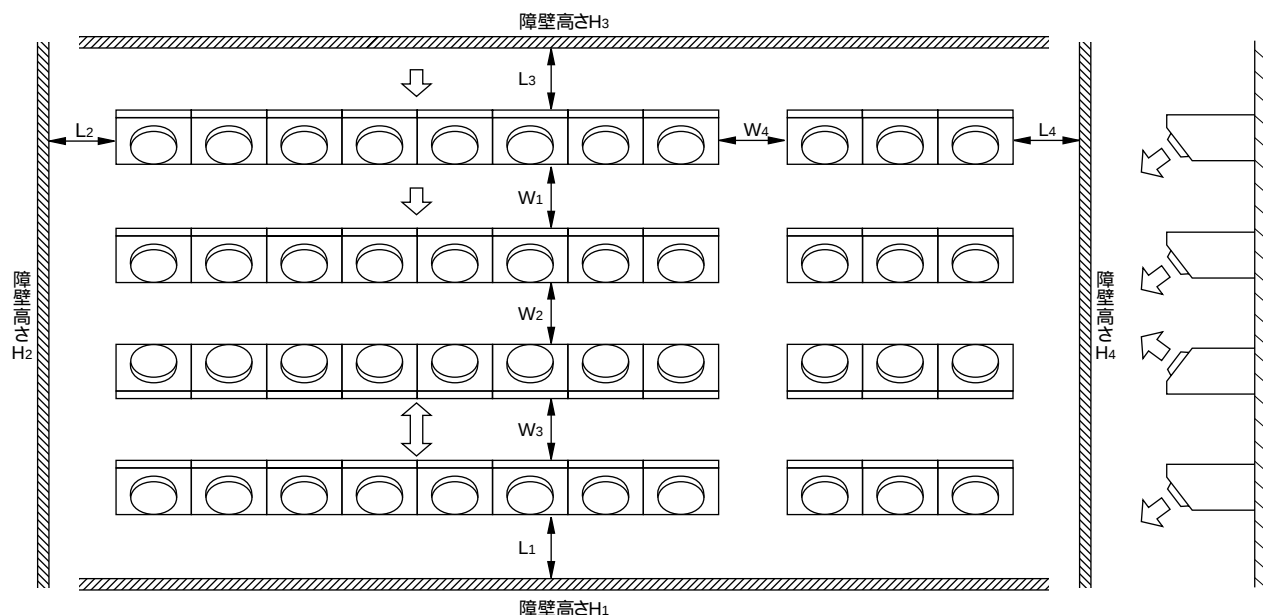
$$L_3 = 300 + (H_3 - 700) / 2$$

ただし, L₃ = 600を超えれば障壁高さH₃の制限はありません。

4) 複数台設置（縦横複数列設置）

注(1) 横吹きはできません。

(2) L_1 、 H_1 はサービススペース側とします。 L_3 、 H_3 は吸込み側とします。



L_1	500	H_1	1000
L_2	0	H_2	制限なし
L_3	300	H_3	700
L_4	0	H_4	制限なし

(3) 障壁高さ H_1 、 H_3 が制限値を超える場合は、 L_1 、 L_3 は下記としてください。

$$L_1 = H_1 - 500$$

$$L_3 = 300 + (H_3 - 700) \times 2$$

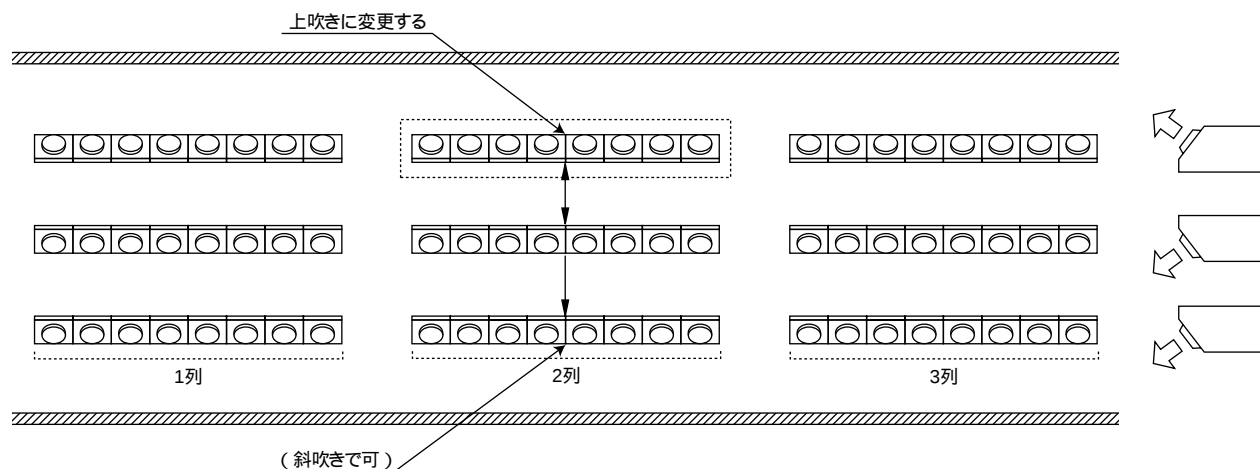
ただし、 $L_3 = 600$ を超えれば障壁高さ H_3 の制限はありません。

	W_1	W_2	W_3	W_4
斜 吹 き (標 準)	1500以上	800以上	1500以上	1500以上
上吹き (オプション)	800以上	800以上	1500以上	1500以上

(4) W_4 は送風機個数8個連続につき1500mmのスペースが必要です。

(5) 斜吹きで縦列3列以上に設置する場合には、両端列を除いた中央列のうち、壁面に吹き出しかつ後方のユニットと吸込み面で相対する一群を上吹き（オプション）に変更してください。

下記の例では2列目の1番上の群が該当します。



(6) 配管等を収めるラックは、熱交へ流入する空気流を妨げないように設置願います。